

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【5月6月度の御金言】今は我が身に過あらじ。或は命に及ばんとし、弘長には伊豆の国文永には佐渡の島。諫暁再三に及べば留難重畳せり「仏法中怨」の誠責をも身にははや免れぬらん。

【四条金吾殿御返事】(全集 1193 頁)

法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲揚

☆ 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)

謗法の意味は、【法】をそしるという事であります。そしるとは、悪く言う、非難する、けなすという意味ですから、信じないで否定する、馬鹿にする、軽んずる、という事になります。つまり、【法】に逆らうという事であります。【法】は当然、南無妙法蓮華經の法です。【法】とは、全ての生命に差別無く平等共通の道理で、過去現在未来の時代、民族、老若男女、肌の色、言葉の違い、財力、権力、腕力等々に翻弄されない不動の存在であります。譬えて言えば $1+1=2$ の【法】には、古い $1+1=2$ とか新しい $1+1=2$ は有りません。人類が此の世に現われる、以前から $1+1=2$ なのであり、未来人類が絶滅したとしても $1+1=2$ なのであります。民族、老若男女、肌の色、言葉の違い、財力、権力、腕力等々に差別されない、絶対の平等が存在しています。南無妙法蓮華經は【全ての生命に仏の生命が具わり、全ての生命は平等に仏に成る資格を持ち、全ての生命は南無妙法蓮華經の法を信じ行じ生命に受け入れることによって仏に成る】事を説いている唯一無二の法であります。

世の中の法律も、全ての生命に平等であるべきなのですが、冤罪を権力で産みだし警察や検察が面子を守る為に何十年も素直に認めないで再審裁判を引き延ばし、尊い人生を争議の為に費やす残酷さや、男女差別の社会の実態を新聞、テレビの報道を見ると、法の基の平等が絵に描いた餅で、まだまだほど遠いと暗澹たる気持ちになります。又アメリカのトランプの言動を見ると、俺は殴って良いけど、おまえは殴っちゃいけない。俺は原子爆弾を持って良いけど、おまえは持つちゃあいけない。弱小者は強大者の言うことに従う事が当たり前だとの理屈を見ると大戦前の植民地政策の時代に頭が戻ってしまったのか、大戦の愚かさから学び反省して、世界共通の法(ルール)を中心に話し合っって平和な世界を作って行こうと努力してきた道程が一人の狂人と、それを支持する一部の狂人達の為に 80 年間の人類の努力がバラバラにされてしまいました。トランプは平等が不平等だ

と考えるのだから付ける薬が無い状態であります。つまり人間が作った【法】は、まだまだ絶対の平等では無い状況にあるのであります。人間は他を思い遣る理性や道徳よりも、自分だけ良ければ良いという煩惱という本能に支配されて行くものだという事がトランプをサンプルにして良く分かります。しかし、これではこの世の中は欲望渦巻くののしり合い、殺し合いの畜生以下の地獄、餓鬼のトランプだらけの世の中になってしまいます。こういう時代だからこそ、一切衆生平等成仏の南無妙法蓮華經の法こそが大切であり必要であります。大石寺の御信者さんに【御義口伝】は、江戸時代 1503 年に初めて世の中に出て来たもので、日蓮大聖人の話された言葉を日興上人が書き写したという、その日興上人自身が何も触れていない、日目上人も何も触れていない偽書ですよ。と言うと、外道、謗法者、不相伝の輩、獅子身中の虫等々、真面目に調べて議論をするのでなく、ののしり否定する言葉だけで音信不通になりました。そんな相手を否定しきげすむ態度が折伏（慈悲行）だと思い込んでいるのであります。そんな畜生の心が正義の様な顔をして世の中に広がったりしたら恐ろしい世の中になります。創価学会も同じでした。今では【平和団体】のイメージを世の中にテレビ、ラジオ、新聞で一所懸命宣伝していますが、皆さん方が経験してきた創価学会が隠したい体質は今も変わらず同じなのであります。謗法厳戒は火の玉になって、南無妙法蓮華經以外の法を否定、ののしり、非難することではなく、1+1=2の様に、自分を含む一切衆生の生命に平等に仏の生命が具わっているという一切衆生平等成仏の法を我が生命の事と疑い無く信じ貫いて生きるという、自分自身の仏性を見つめ、自分自身がこの南無妙法蓮華經の当体そのものと自覚し生きるという事なのであります。【謗法厳戒】は順守しなければいけない苦痛ではなく自分自身の為であると考え方を 180度改変しなければいけないのであります。